

# 資 料 編 (案)

# 目次

資料1 計画関連資料.....	1
(1) 基礎的データ.....	1
(2) 意見聴取概要.....	5
(3) SDGsについて.....	14

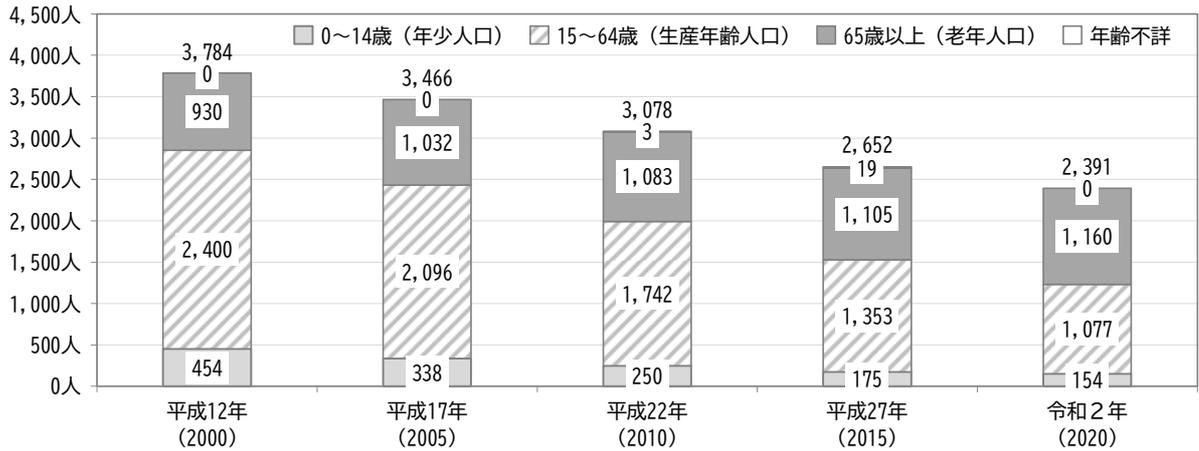
# 資料1 計画関連資料

## (1) 基礎的データ

### ①人口

人口減少と少子高齢化が進行している。令和2（2020）年の老年人口指数は0.93となっており、ほぼ生産年齢人口1人で老年人口1人を支える人口構造となっている。

年齢3区分別人口の推移



	平成12年 (2000)	平成17年 (2005)	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	令和2年 (2020)
0～14歳 (年少人口)	12.0%	9.8%	8.1%	6.6%	6.4%
15～64歳 (生産年齢人口)	63.4%	60.5%	56.7%	51.4%	45.0%
65歳以上 (老年人口)	24.6%	29.8%	35.2%	42.0%	48.5%

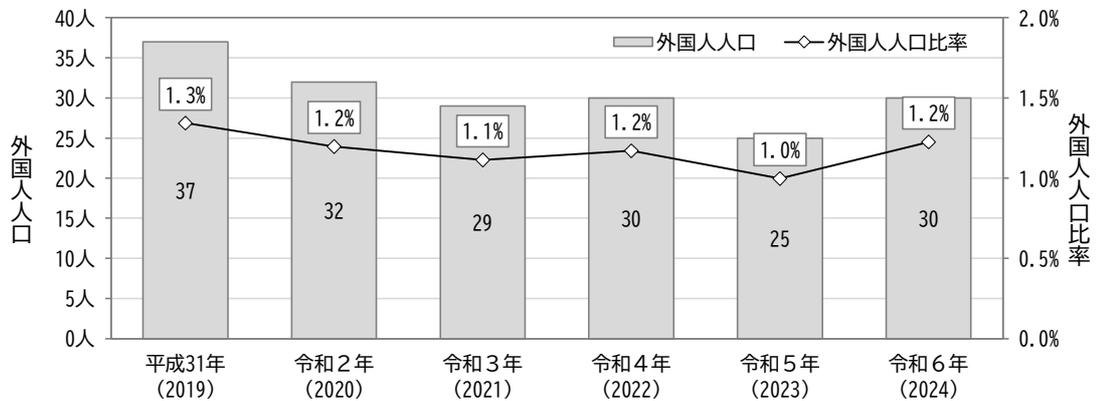
老年人口指数	2.58	2.03	1.61	1.22	0.93
--------	------	------	------	------	------

※国勢調査

### ②外国人人口

外国人人口は増減しつつ、ほぼ横ばいで推移。総人口に占める割合としては1%程度となっている。

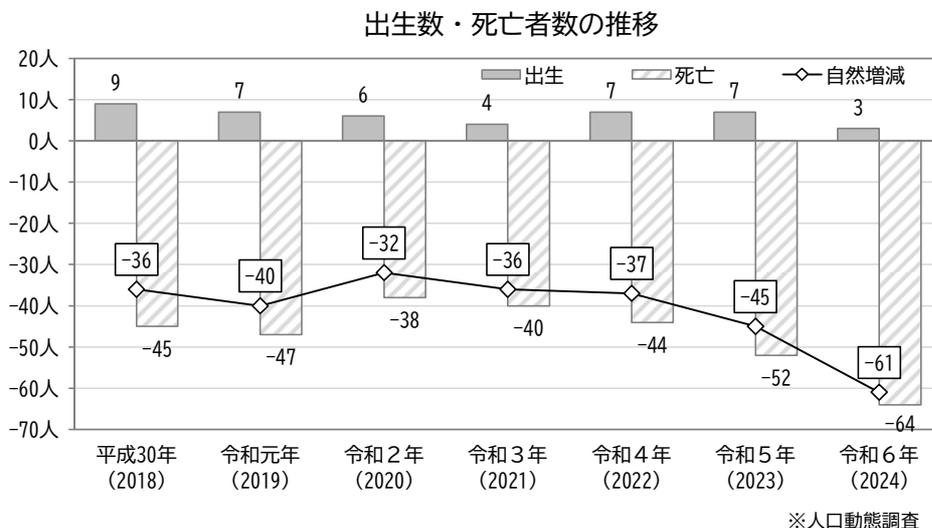
外国人人口とその比率の推移



※住民基本台帳

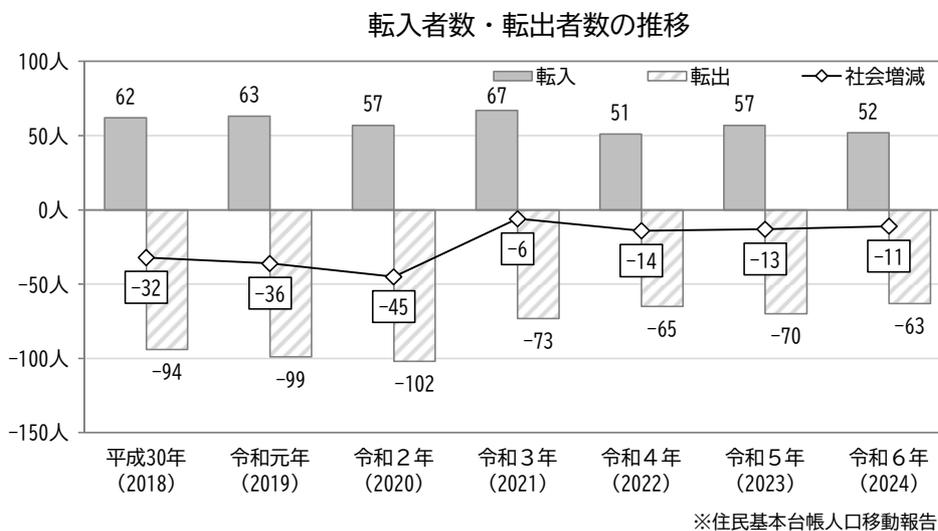
### ③自然動態（出生・死亡）

出生数は増減しつつ推移している。死亡者数は令和2（2020）年以降増加傾向が続いており、それに伴い自然動態（出生数－死亡者数）も現状傾向となっている。



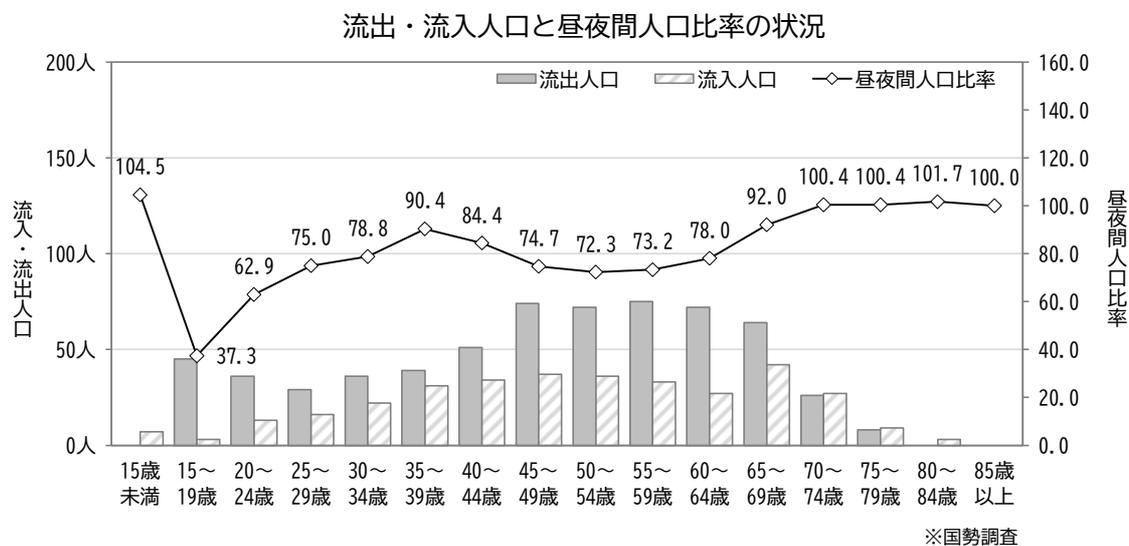
### ④社会動態（転入・転出）

転入者数・転出者数は増減しつつ推移している。社会動態（転入者数－転出者数）は令和2（2020）年から3（2021）年にかけて改善し、その後-10人程度を維持している。



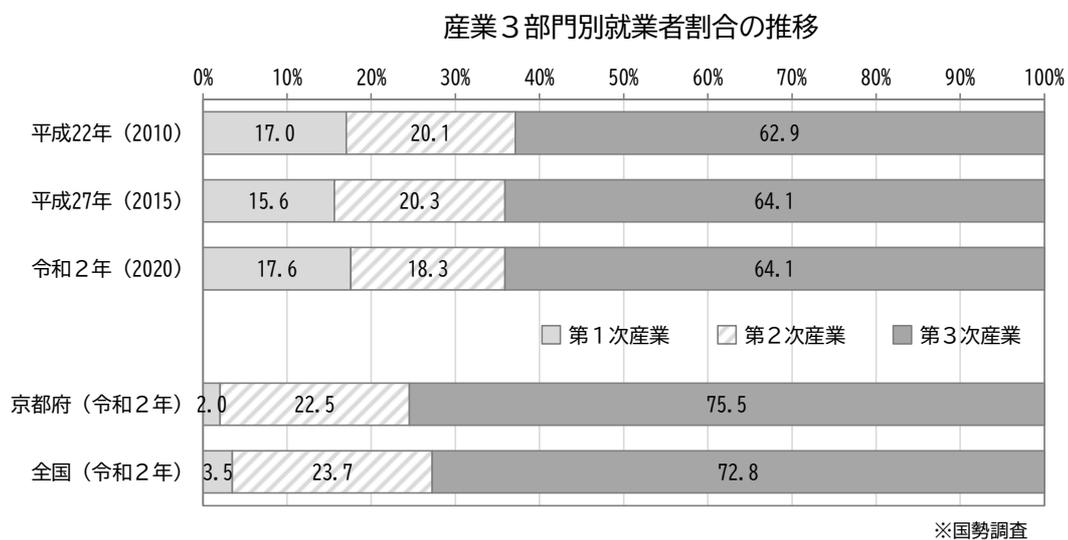
### ⑤昼夜間人口比率

15～64歳の生産年齢人口における昼夜間人口比率は各年代で100を切っており、流出超過（流出＞流入）となっている。



### ⑥産業

京都府や全国と比べ第1次産業の割合が高く、平成27（2015）年から令和2（2020）年にかけて増加傾向となっている。



## ⑦財政力指数

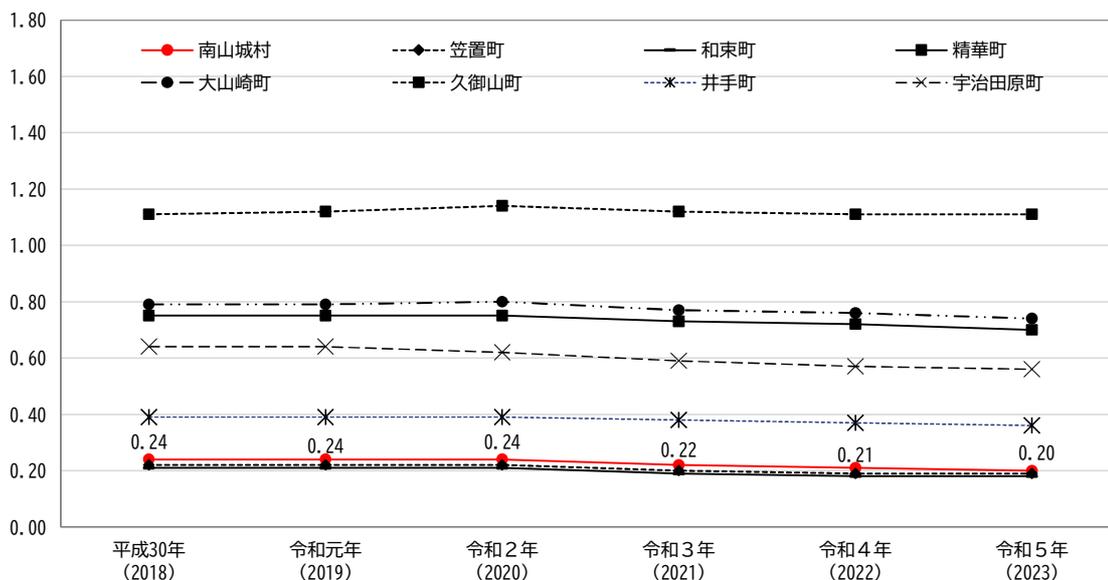
財政力指数（需要における収入の割合）は令和2（2020）年までは0.24で維持していたが、令和3（2021）年から減少傾向となっている。

財政力指数：地方公共団体の財政力を示す指数。①基準財政収入額を②基準財政需要額で割った数の過去3年間の平均値。財政力指数が高いほど、財源に余裕があり、1を超えると普通交付金の不交付団体となる。

①基準財政収入額：総務省が決めた基準で、自治体の税収（収入）を見込んだもの。

②基準財政需要額：総務省が決めた基準で、自治体の事業に費やす費用を見込んだもの。

財政力指数の推移



※市町村決算カード

## (2) 意見聴取概要

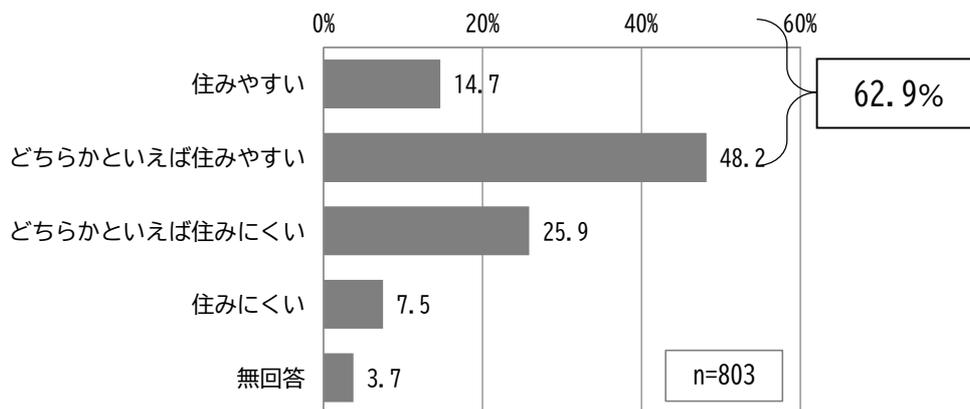
### ①住民アンケートの実施概要と主な結果

調査対象者	配布・回収方法	配布・回収期間	配布・回収数
南山城村にお住まいの 15歳以上の方	郵送配布・郵送回収 調査票に二次元コードを 記載し、WEB併用	令和7(2025)年 2月上旬 ～2月28日	2,232票配布 803票回収 (36.0%)

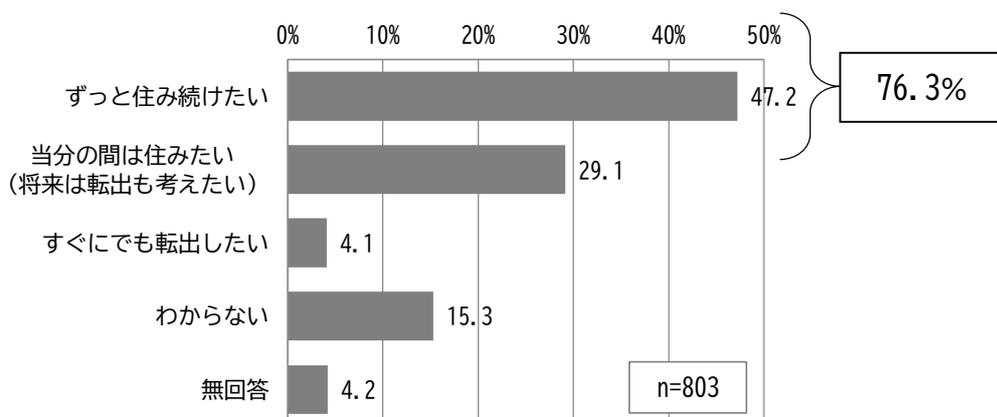
#### ■幸福度

幸福度	6.57点	地域満足度	5.69点
(全国平均)	6.49点	(全国平均)	6.48点

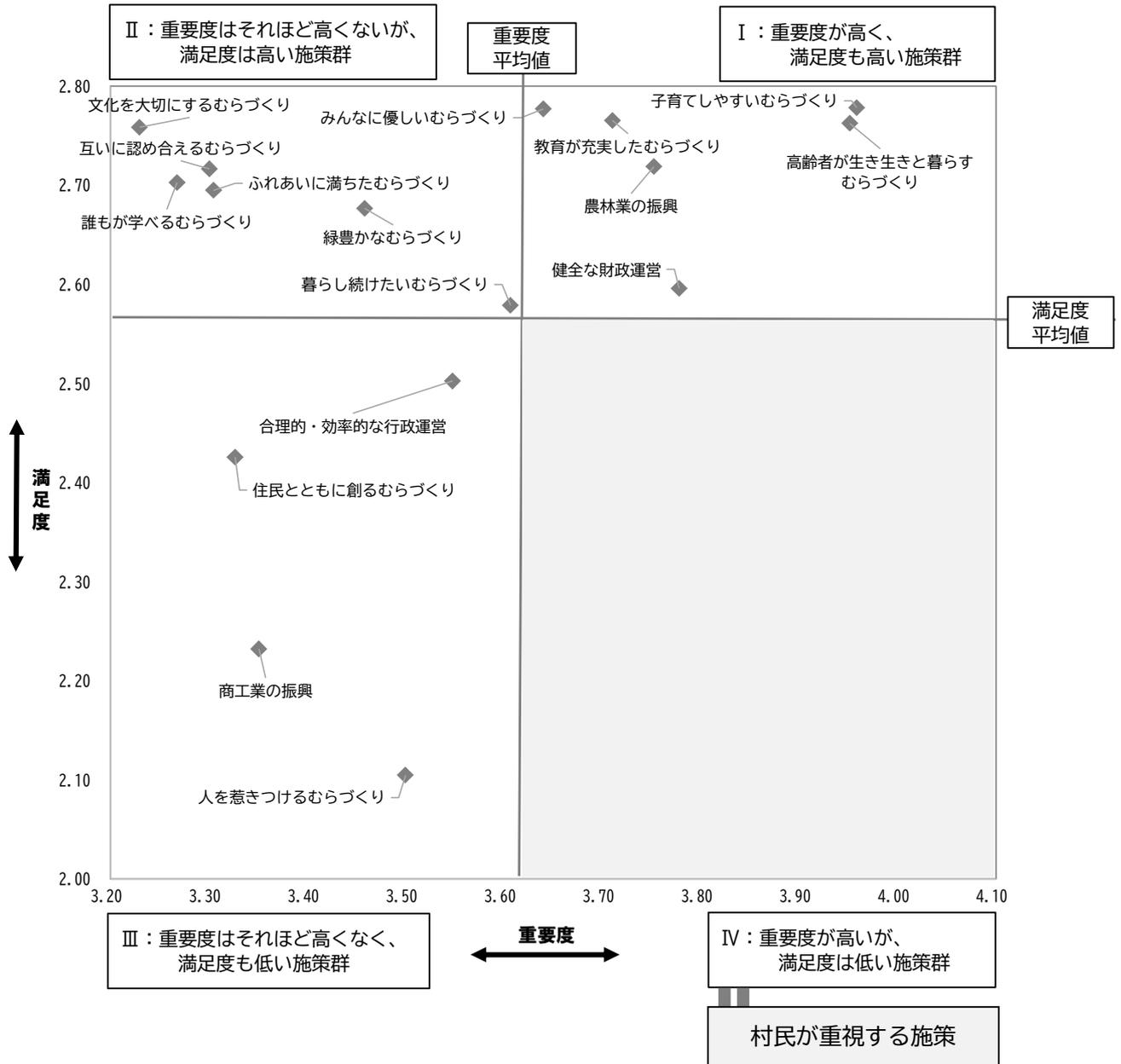
#### ■住みやすさ



#### ■定住意向



## ■むらづくりの取組への評価

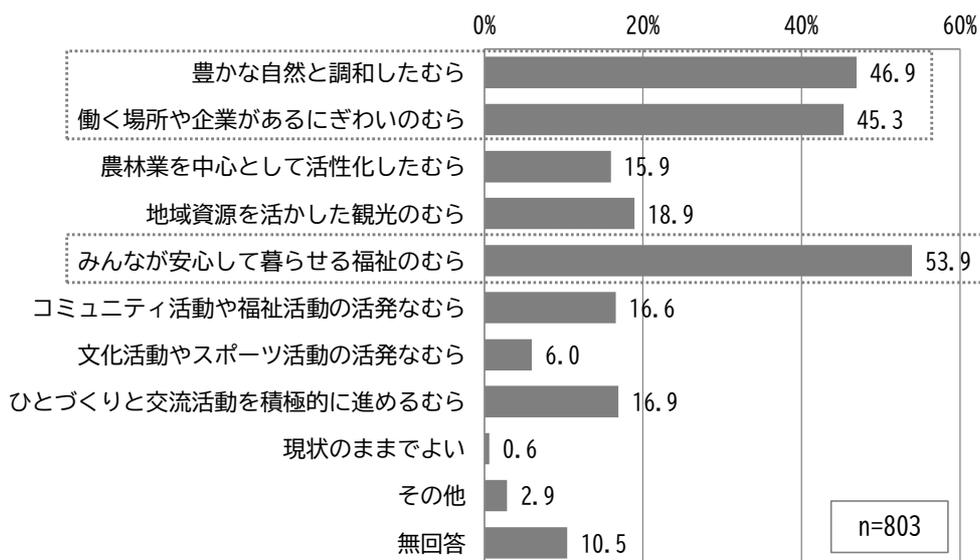


上記のデータは、加重平均値（重要なものに重みを加えて計算する平均値）です。

重要度・満足度ともに、「高い：5点」「普通：3点」「低い：1点」とし、それらの合計値を回答者数（無回答を除く）で割っています。

$$\text{算出方法} \quad \begin{array}{l} \text{満足度} \\ \text{重要度} \end{array} = \frac{(\text{高い} \times 5 \text{点} + \text{普通} \times 3 \text{点} + \text{低い} \times 1 \text{点})}{\text{無回答を除く回答者数}}$$

■なっしてほしいむらの姿



	合計	豊かな自然と調和したむら	働く場所や企業があるにぎわいのむら	農林業を中心として活性化したむら	地域資源を活かした観光のむら	みんなが安心して暮らせる福祉のむら	コミュニティ活動や福祉活動の活発なむら	文化活動やスポーツ活動の活発なむら	ひとづくりと交流活動を積極的に進めるむら	現状のままでよい	その他	無回答	
全体	803 100.0	377 46.9	364 45.3	128 15.9	152 18.9	433 53.9	133 16.6	48 6.0	136 16.9	5 0.6	23 2.9	84 10.5	
年齢	10～30歳代	62 100.0	23 37.1	29 46.8	14 22.6	14 22.6	18 29.0	7 11.3	5 8.1	15 24.2	0 0.0	8 12.9	6 9.7
	40～60歳代	300 100.0	160 53.3	138 46.0	60 20.0	72 24.0	158 52.7	44 14.7	15 5.0	51 17.0	4 1.3	9 3.0	17 5.7
	70歳以上	435 100.0	193 44.4	197 45.3	54 12.4	65 14.9	256 58.9	79 18.2	28 6.4	69 15.9	1 0.2	6 1.4	58 13.3

## ②小学生ワークショップ

参加者	実施日	実施場所
南山城小学校6年生 11名	令和7（2025）年9月18日	南山城小学校ランチ室

### ■将来の村に残したいもの

自然、食べ物、イベント、学校、道の駅

### ■将来の村に欲しいもの

スーパー、病院、店、信号、コンビニ、動物病院、大学、交通機関  
森の中の遊び場

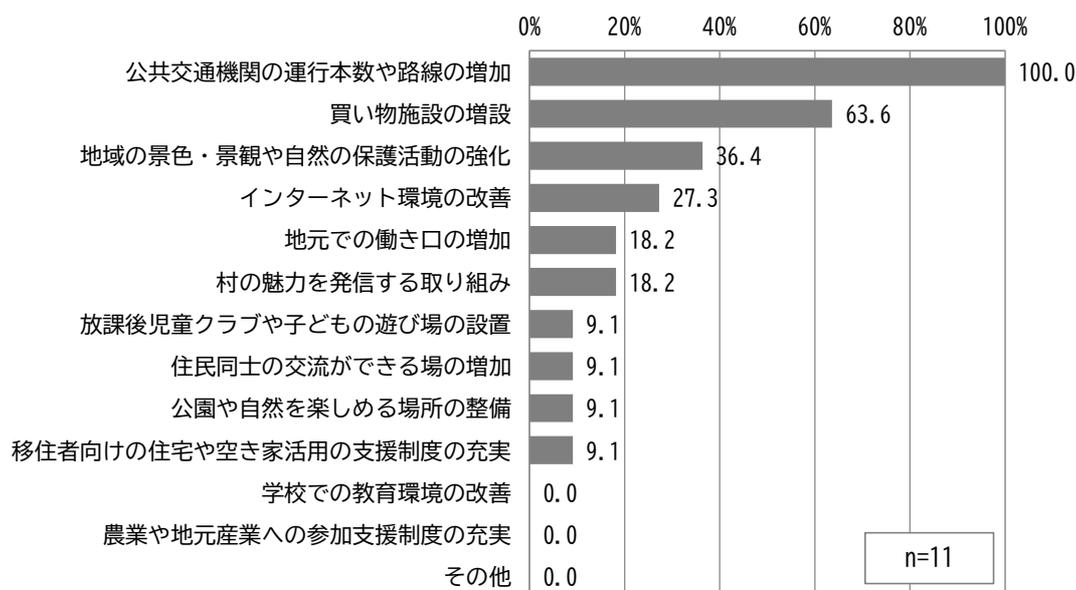
### ■その他の意見

- スーパーやコンビニも欲しいけど、自然環境を破壊するような開発はやめてほしい。
- 空き家や跡地を使って、スーパーを誘致したらいいと思う。
- 自然環境を守りながら、公園を整備する「森の中の遊び場」をつくる。
- 電車が1本しかない。交通が便利になったらいい。
- 学校（大学）を建てて、学ぶ環境をつくってほしい。
- 習い事ができる場所・公園をつくって、地域の人も使えるように。
- 村には豊かな自然がたくさんあって、優しく穏やかな人が多い。
- 小学校を残して、その魅力を広く発信することが重要。
- 学校施設を整備（プールや外壁の補修）して、長くつかえるようにしてほしい。

### ③中学生アンケート（ワークショップに代わり実施）（令和7年度実施）

調査対象者	配布・回収方法	配布・回収期間	配布・回収数
相楽東部広域連合立 笠置中学校 3年生	学校にて実施 タブレットを用いて WEB回答	令和7年（2025） 10月上旬 ～10月20日	16票配布 11票回収 (68.8%)

#### ■将来の村に欲しいもの・変わって欲しいこと



#### ■むらづくりへの関心度・参加意向

村の将来やむらづくりへの興味	「どちらかといえば興味あり」72.7%
むらづくりのための活動への参加意向	「内容によっては参加したい」81.8%

#### ■その他の意見

- 伝統行事の引き継ぎや地域の魅力のPR活動に参加・挑戦してみたい。
- イベントに参加して、南山城村の魅力を知ること、関心を持つことが大事だと思う。
- 交通網を整備してほしい。買い物に行きやすくしてほしい。
- 猫カフェがほしい。
- 自然を楽しめる施設や遊べる施設・場所を作る。
- 住むための支援が必要
- 夢がたくさんある村だから、若い人たちが自信を持って、いい村だと思えるようなむらづくりをすることが重要。

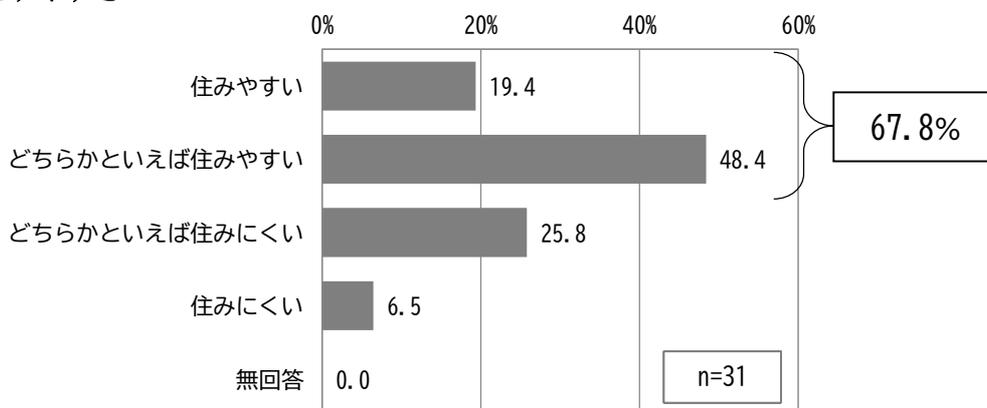
#### ④中学生アンケート（令和6年度実施）

調査対象者	配布・回収方法	配布・回収期間	配布・回収数
相楽東部広域連合立 笠置中学校 通う全生徒	学校にて実施 タブレットを用いて WEB回答	令和7（2025）年 2月上旬 ～2月28日	31票回収 （笠置町在住を 含めると43票）

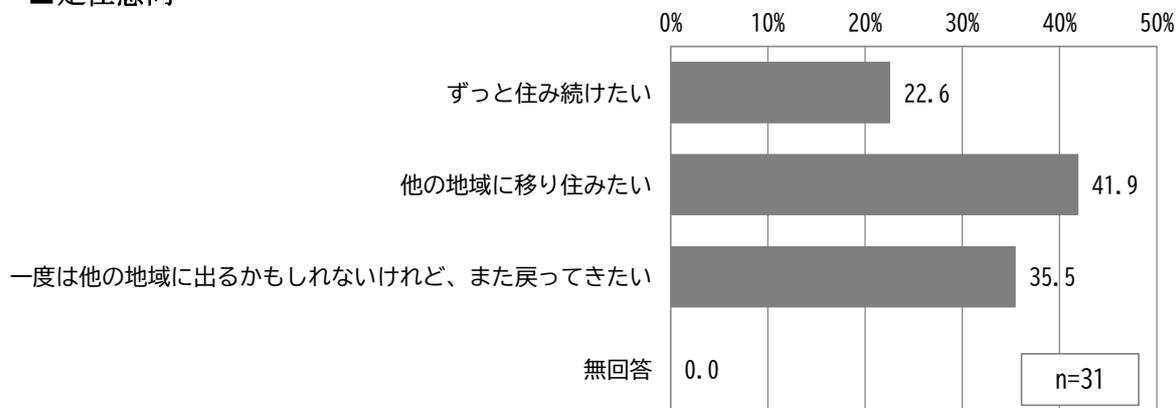
#### ■幸福度

幸福度	7.00点
-----	-------

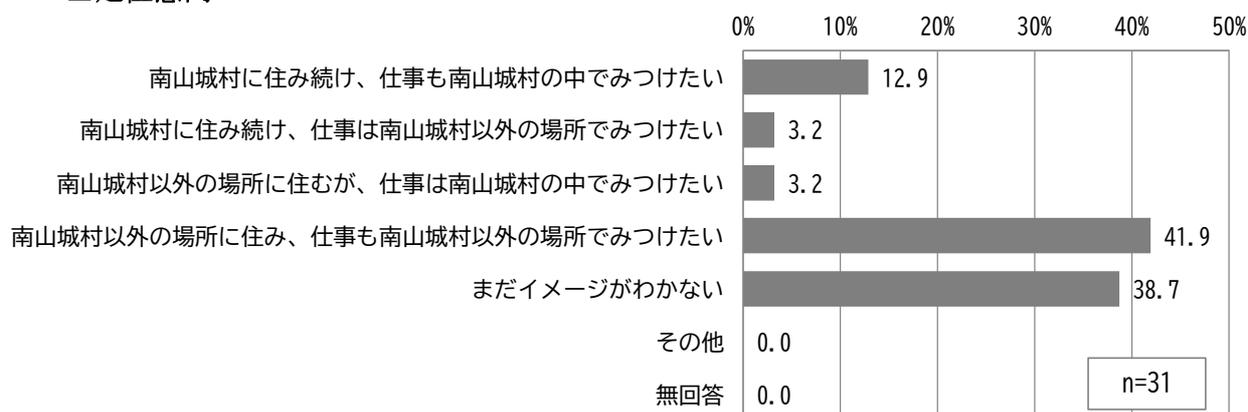
#### ■住みやすさ



#### ■定住意向



#### ■定住意向

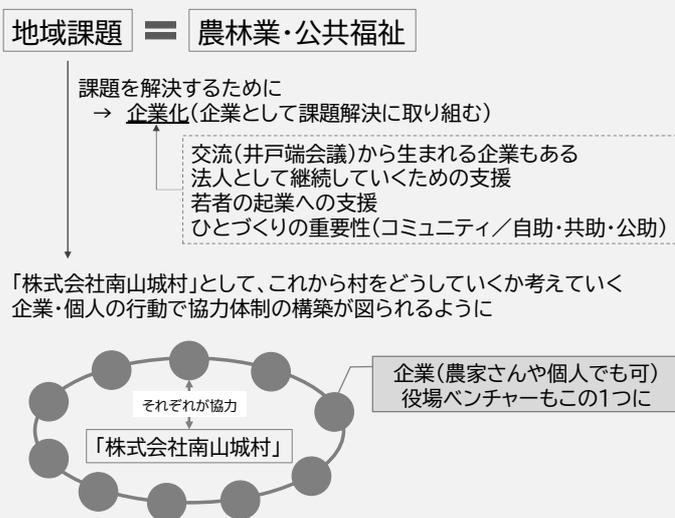


## ⑤道の駅出荷者協議会ワークショップ

参加者	実施日	実施場所
道の駅出荷者協議会 7名	令和7（2025）年9月22日	道の駅 お茶の京都 みなみやましろ村

### ■チームごとの意見

- 「自然と調和」や「農林業の活性化」を実現するためには、「働く場所や企業」が必要だったり、「ひとづくり・交流活動」が基本に無いと難しい。
- 農林業や公共福祉に関する社会課題を解決するための企業を働く場所にする必要がある。村内で企業を作って、人づくり・コミュニティの形成を行っていく。
- それぞれが連携し、大きな枠組みの中で、井戸端会議から生まれるアイデアを形にできる企業として、個人の農家さんや事業所含め、みんなで大きくしていく。
- 地域課題を解決するための会社を作り、行政としても若手の企業支援をしてもらえれば明るい村になっていくだろう。



- 「獣害対策」が重要。取組名は「獣害対策で村をキレイに！？若者も稼げる！？おどろきのむらづくり」。村民の安心と農家さんの安心が実現できたら良い。
- 狩猟者・狩猟へのインセンティブが上がれば、モチベーションにもつながる。
- 村内の空き家や雑草地に獣が寄ってきてしまう。獣害対策の1つである草刈りにも報酬があれば。有償でも刈って欲しい人はたくさんいる。
- 解体する施設があれば、狩猟した後の対応もできる。この施設の管理は、村の方（委託でも）でやってもらえたらと思う。
- 村で捕った肉を捌いて自分たちで食べることは、お肉への感謝など食育にもつながるので、小学生に体験してもらおうのも面白いと思う。

## ⑥移住者ワークショップ

参加者	実施日	実施場所
移住者 5名	令和7（2025）年10月9日	南山城村役場

### ■村に移住してきた理由

- 家が気に入った・良い家があった。猫と暮らせる家があった。
- 職場に近かった、村に仕事があった。
- 直売所でなにかやりたいと思って。
- 友達がたくさんいるから。
- 子どもの頃に来たことがあった。
- 人通りがある。わりと便利（交通）。駅がある。
- 住む所は田舎だが生活には困らないし都会が近い。

### ■今後取り組んだ方が良いと思うこと

- 飲食店が欲しいので、食べ物屋さんの移住促進。働く場としても飲食店があると良い。
- 道の駅・直売所への出荷者が増えること。
- 村を存続するなら観光と一次産業！あと、移住者を増やすためには仕事が必要。
- 村を好きな人に来て・住んでほしい。おもしろい人の移住を促進。
- 村出身者が戻ってきてくれるようにする。大きな家をシェアハウスにするのも良いかも。
- 地元の若者と友達になる・知り合うこと。子どもが遊べる場所があると良い。
- 集まって映画会をやったり、ごはんを食べる日をつくる。
- 遊歩道・サイクリングロードの整備。道路沿いの木の剪定や森の整備。
- 獣害柵の設置。行政と連携して対応していけると良い
- 環境保全。自然を壊さない。
- エコフレンドリーの村になってほしい。綺麗な村。ゴミの削減日本一の村。
- 道の駅が続きますように。老若男女が集える直売所であり続けること。
- JRが続くように、これ以上本数が減らないように。JR存続のため観光客を増やすのも1案。
- 交通のウーバー導入

## ⑦茶業青年団ヒアリング

参加者	実施日	実施場所
茶業青年団 7名	令和7（2025）年9月18日	田山婦人の家

### ■茶業の状況・課題

- 「茶恋路 21」と同様、土地を集約し、省力化を図れる仕組みを補助金を活用して導入できるのであれば理想的。安全で効率的な運営が可能となる。
- 自分が管理する茶園として運営したいという考えがある方も。
- 労働力の確保、生産量の維持が大きな課題。最低賃金の上昇が負担となり、労働力確保の障壁となっている。（手刈り作業には最低でも3～4名の人手が必要）
- 村内には労働者が居住できる場所が不足している。
- 若い世代の労働者がほとんどいない。農業の収入が安定しないから、やりがいはあっても、自分の子どもに農業を継がせたくないという声もある。

### ■農業の状況・課題

- 現在、多くの地域で水田の集約化が進んでいないため荒廃が目立つ。
- 水田を茶園に造成するのは、山林造成よりも低コストだが、排水対策が不可欠。
- 地球温暖化で田植えの時期が早まり、茶の収穫時期と重なることが課題。作業負担が増加し、対応の効率化が求められている。

### ■その他の意見

- 移住希望者は賃貸を希望する人が多いが、賃貸物件には修理が必要なケースが目立つため、改善が必要。
- 家族に優しい環境整備が重要。特に子どもが習い事をできる場所が求められている。
- 童仙房では交通の不便さが問題となっている。
- 労働者を呼び込むためには、スーパーや飲食店など生活に必要な施設を整えることが必要。子ども向けの遊び場の整備により、地域の魅力を向上させ、リピーターを増やす取り組みが必要。
- 近隣にスーパーがなくても不便を感じないという意見もある一方で、若者が働ける場所を確保しなければ、若者離れが進む可能性がある。地域振興が求められる。
- 今後も何か困った際には手軽に相談できる役場であって欲しい。

### (3) SDGsについて

SDGsは、平成27(2015)年の国連サミットで採択された国際目標であり、「誰一人として取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会を実現し、豊かで活力ある未来をつくるための目標を定めたものです。

本ビジョンにおける施策に取り組み、より良いむらづくりを進めることでSDGsの達成にも貢献することを目指しています。

	<b>1. 貧困をなくそう</b> あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ		<b>10. 人や国の不平等をなくそう</b> 国内および国家間の格差を是正する
	<b>2. 飢餓をゼロに</b> 飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する		<b>11. 住み続けられるまちづくりを</b> 都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靭かつ持続可能にする
	<b>3. すべての人に健康と福祉を</b> あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する		<b>12. つくる責任 つかう責任</b> 持続可能な消費と生産のパターンを確保する
	<b>4. 質の高い教育をみんなに</b> すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する		<b>13. 気候変動に具体的な対策を</b> 気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る
	<b>5. ジェンダー平等を実現しよう</b> ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る		<b>14. 海の豊かさを守ろう</b> 海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する
	<b>6. 安全な水とトイレを世界中に</b> すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する		<b>15. 陸の豊かさを守ろう</b> 陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る
	<b>7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに</b> すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する		<b>16. 平和と公正をすべての人に</b> 持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する
	<b>8. 働きがいも経済成長も</b> すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を推進する		<b>17. パートナリシップで目標を達成しよう</b> 持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化させる
	<b>9. 産業と技術革新の基盤をつくろう</b> 強靭なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る		
			